

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q		
1																	<様式10-1>		
2			令和5(2023)年度 児童館事業年間活動報告書													清水児童館			
3			活動名	実施回数	参加人数										内容	成果と課題			
4					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計		
5		自由来館	学童クラブ	自由来館		学童クラブ			中学生	大学生	大人								
6			(1) 日常の自由遊び活動																
7			(2) 遊びの教室活動																
8	子ども育成活動	基本活動	遊びの教室 七夕飾りを作って飾ろう	3			5									5	七夕笹飾り工作や短冊に願い事を書いて飾る	・季節行事に向けての飾りやグッズ作りを、見本や作り方の提示と、豊富な素材を準備してコーナー展開をすることで、自分なりに工夫した個性豊かな飾りづくりが出来た。七夕飾りについては、参加者は少なかったが、七夕お楽しみ会に向けて良い環境作りにもなった。下校時間が遅い子どもも参加しやすいように、一定のパーツを準備したことで、余裕をもって作ることができた。	
9			遊びの教室 ハロウィン飾りを作ろう	6		1	20										21	ハロウィン壁飾り工作(ガーラント)	
10			(3) 行事活動																
11			七夕お楽しみ会子ども実行委員会	4				20									20	七夕お楽しみ会に向け、子ども実行委員を募集し、5人がメンバーとなる。企画内容について話し合ったり、役割分担や準備、司会の練習などをする。	・ポスター作り等子どもが意欲的に取組み、役割分担では、自分のやってみよう希望を出し合って決めた。3年生の子は、下校時間は遅いが、担当で打ち合わせをして台詞分けをしたり練習する自主的な姿や、司会進行の部分でこれまでの経験も活かし、臨機応変な動きや対応が見られた。 ・実行委員会参加への本人の意欲を保護者にも伝え、子どもの意欲や達成感を保証していけるように対応できた。
12			七夕おたのしみ会	1				24			5						29	七夕お楽しみ会に子ども実行委員会の企画・進んで伝承的な季節感ある七夕の季節のお楽しみ会を実施。 「七夕ボウリング」「織姫彦星わなげ」	・実行委員会の子どもが準備し、司会やゲームのルールの説明をする。「ボウリング」という題材がイメージしやすく大盛況だった。点数を競う遊びで、実行委員の子ども達はその都度点数を伝えて一覧表にして発表していたが計算ミスがあり、皆のプレイが終わった後に落ち着いて計算をし、職員の確認をしてから一斉発表にした方が良かった。
13			マンカラ大会	1				5			5						10	マンカラ週間で練習してきた成果を生かし、ルールを守って大会に挑む。	・総当たり戦で勝利数の多い子から順位を決定し、勝利数が同じ子の中で2位、3位決定戦をして順位を決める。全員が常に誰かと対戦するので空き時間も集中して参加できた。 ・参加人数の少なさはあるが、職員の見守り体制を考えると丁度良い人数であった。
14			わんぱく探検隊	1				31	2		7						40	交通マナーを守り、交通機関やボウリング場の送迎バスを乗り継ぎ、児童館から館外に出て、ボウリング体験を通して交流をする。	・コロナ禍には出かけることができなかったため、参加者が多いことも予想されるため、職員の体制的にも児童館と学童クラブの合同開催とする。 ・今年度初めての館外活動であり、学年ごとに整列する時とボウリングのレーンでの異年齢グループ等、随時グループの編成は変わったが、指示通りに並ぶことができ、体制や配置に考慮したことにより、個別対応が必要な児童も含め、大きなトラブルなく実施することができた。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q			
15	子 ど も 育 成 活 動	基 本 活 動	Let`s子ども百鬼夜行子ども実行委員会	3					3							3	実行委員を募集し、当日に向けての相役割分担や準備、司会の練習などをする。	百鬼夜行に向けて、楽しみながら当日のゲームの準備を行い、ルール説明などを行う		
16			Let`s子ども百鬼夜行	1	1	8	15	1	3			7					35	百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開後、館外の開晴小六原グラウンドにパレードしグラウンドで遊ぶ。企画や進行は、子ども実行委員会のメンバーが担う。	・子ども実行委員会の子が、パレードした後のグラウンドでの遊びや、館に戻ってからの室内遊びの企画や進行を担う。交通安全や外遊びの様子を見守ってくださる保護者もいた。また、地域の親子と一緒にパレード気分を歩くなどの場面もあった。グラウンドで外遊び展開した子ども実行委員の子どもが一人だったため、館内外の遊びを考え実行する事になり、負担がかかったため次年度は、一人にならないように声掛けや告知をしていく必要がある。	
17			冬休みおたのしみ会子ども実行委員会	4				10	1	3								14	・冬休みお楽しみ会に向けての子ども実行委員を募集し、子ども実行委員がお楽しみ会で行う遊びの内容を企画し準備する。 ・役割分担をして当日の進行をする。	・実行委員が事前に打ち合わせをし、準備を楽しみながら行い、主体的に動くことができた。 ・子ども達の、自主性に任せられる部分も沢山あった。
18			冬休みお楽しみ会「クイズ大会」	1				3	1	1								5		
19			冬休みお楽しみ会「玉入れ」	1			1	10	1	4								16	子ども実行委員会のメンバーが企画し準備をして進行するお楽しみ会	子ども実行委員が主体的に動き、参加者も積極的に参加し、設定が苦手な子がいたが話を聞く場面では静かに落ち着いて聞いていた。トラブルなく穏やかに遊べていた。
20			冬休みお楽しみ会「キラキラボトル作り」	1			1	9		3								13		
21			節分おたのしみ会子ども実行委員会	5														15	・実行委員を募集し、当日のお楽しみ会でどんな遊びにするかの話し合いをして決めたり、役割分担や利用する道具類の作成をして準備をする。 ・参加者募集のポスター作りなどを作成や司会の練習などをする。	・今回は今までと違う別の遊びを企画しようと、色々考え、あらかじめ決めた鬼のパワー数から、豆を釣った数で退治していく（消しこんでいく）という「豆釣り鬼退治」と、輪投げをして鬼人形を捕まえるという「鬼退治輪投げ」をすることに決定。メンバーの都合や体調不良などで、少人数での取組となった。 ・当日まで欠席が続いていた高学年メンバーが、自分の思うように段取りができていない状況に苛立ち、低学年メンバーに強く当たる場面もあった。 ・楽しみながら準備をし、主体的に動くことができた。 ・子ども達の、自主性に任せられる部分も沢山あった。
22			節分おたのしみ会	1					13		1							14	・子ども実行委員会の企画・進行のもと、伝統的な節分についての由来等を知ったり節分に因んだ遊びを体験する。 ・実行委員会が企画した「豆釣り鬼退治」「輪投げ鬼退治」に、希望者が参加し体験する。	・実行委員のメンバーがポスターを作成して貼りだしたり、声をかけて案内し、参加希望者を受け付けて実施。 ・「お豆釣り鬼退治」と「輪投げ鬼退治」のふたつのコーナーを、当日は3人の実行委員メンバーで進行することになったので、慌ただしかった。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
28			(5) 地域間交流促進活動														
29			東山区民ふれあいひろば2023で児童館のステージ発表をしよう！	1	1	2	2	1	1		2				9	東山区民ふれあい事業実行委員会・東山区役所主催で、地域の企業や各種団体の協力を得て開催される区民のための多世代交流の広場。総合庁舎全館を会場に、ステージ発表や、多岐に渡るコーナー展開。	当児童館の40周年記念と東山区の児童館のPRも兼ねて企画。ステージ発表出演者を募集して実施。縄跳びやけん玉、フラフープなど、演技発表の仕方を自分達で考えながら当日まで練習し、子ども達は、大勢の区民の前で司会進行をしながら発表をした。
30			交通安全教室&ワークショップ													東山警察署の方による、交通安全教室とワークショップ	台風による暴風警報で中止
31			左京・東山児童館学童保育所まつり													児童館・学童保育所のブロックを単位とした「まつり」	当館からの引率は難しく、家庭からの参加を呼び掛ける。
33		子ども育成活動	東山ふれあいリレーマラソン													東山はぐみネットワーク実行委員会による取り組みの中で、東山区の子ども達やその地域の人たちとも交流を持つ。	会場が東山泉小中学校のグラウンドであるため、開晴館小中学校からの参加は少なかったが、職員がスタッフとなって参加。地域の各種団体や乳幼児親子の参加もあり、地域が一丸となって健全育成を目的に繋がっている。
34			(6) 障害のある児童の居場所つくりと活動への参加促進	随時												自由来館対応	<ul style="list-style-type: none"> ・転校してきた中学生の対象児童が保護者と共に来られ、その後、必要に応じて来館し、小学生と交流したり、自分の好きな図書を読んだりする姿が見られた。状況により、興奮度が高くなり大きな声を出す場面や、学校帰りにそのまま来館したりすることがあり、その都度、落ち着くように支援したり、児童館でのルールを伝える。 ・特に積極的に環境を作って居場所つくりや活動への参加促進はできていない。
35			(7) 思春期児童の活動支援														
36			中高生タイム	30						57					57	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生の居場所づくりとして毎日の中高生タイムを実施。 ・やりたいことができるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例の活動時間には都合がつかないことが多く、自分たちの空いた時間に自由に利用する参加者が多いこともあり、今年度は、中高生タイムを日常化した。その中で中学生自身が何か企画を相談して企画していくようには思うが、なかなか計画までには至らない。学校帰りに、学校や家庭、進学などについての悩みなどを職員に話に立ち寄る時もあった。 ・バスケットやサッカー等、テラスでのスポーツを目的に友達と利用したり、気分転換に職員と話をに来るが見られた。思春期児童に寄り添いながら対応していきたい。
37			(8) 子ども相談・援助活動														
38			(9) エコ活動														
39			リサイクル工作「牛乳パックでばっちゃんガエルを作ろう！」	1		1	31		6						38	エコを意識して、様々な制作遊びが体験できる機会を作る。	0歳児教室では乳酸菌飲料の空ボトル、チャレンジクラブ活動の取組で牛乳パックやカップ他、廃材利用をした工作をし、使い終わったらゴミにするのではなく、こうして利用すれば玩具を作って遊べるということ伝える機会となった。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	
40	子ども 育 成 活 動	基本活動	年末大そうじ	1			10		2							日頃利用している児童館内を、みんなで手分けして掃除したり、整理整頓する。	参加者自体が少ないこともあって、担当わけをしておきながら、進行ではなく、一か所ずつを全員で掃除していく形にしていた。子ども達は、熱心に取り組む姿が見られた。	
41			ゴミの分別	随時												燃やせるゴミ、プラスチックゴミ等、分別できるように、日頃から児童館の環境の中にゴミ箱を分けて設置しておく。	従来から施設内に分別できるようにゴミ箱を設置しているが、再度意識づけていくための学習の機会は提供できなかった。	
42			ニコニコデー	1				6		1						7	・エコ活動で工作をしたり、エコまちステーションとの連携の取り組みを通して、環境学習的な取り組みを行うことや、そこから発展させて、人と人が笑顔で過ごせることを考える機会とする取組。	・年度当初はエコまちステーションとの連携事業を取り組む予定であったが、相互の体制の関係で、出向いてもらっての取り組みが困難となり、今年度は、環境学習ではなく、相手に喜んで貰えるメッセージカードを作って渡す取り組みを、25日に「ニコニコデー」として企画。 ・参加の子どもたちは、日頃の感謝の気持ちを込めて、家族や友達、学童クラブを卒業する先輩に向けてメッセージカードを作って渡し、自分の笑顔となっていた。
43			子ども用品・子育て用品「譲ります！貰います！」事業	随時													子どもの成長とともに使わなくなる子育て用品・子ども用品を譲り合うことで、エコの推進と子育て世代の交流を図る取り組み。 【ゆずります・もらいます掲示板】を設置し、利用者がそれぞれ要らない物、欲しい物を専用の掲示用紙に記入し掲示板に貼ります。	児童館で使ってくださいと申し出はあって受け取ることはあったが、新型コロナの感染防止の点からも、当事業を広く周知できておらず、活発な展開ができていない。
44			(10) 中高生と赤ちゃんとの交流活動														次世代の親となる思春期児童が、妊娠・出産等に関する知識を習得し、赤ちゃんやその家族とふれあう機会をもつことにより中学生・高校生の健全育成を図るとともに、将来、子育てに関わるときの貴重な予備体験として育児不安からくる虐待の予防につなげることを目的とした乳幼児と中・高校生世代等との触れ合い体験の取組	特に企画事業の取り組みはできなかった。日常来館時に小学生と遊ぶ親子の姿は見られた。
45			46	合計	138	2	22	567	44	127	57	9	1	0	0	817		

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
47			(11) 子どもが地域を知る活動														
48			防災訓練	9		1	169	1	51						222	<p>火災や地震等に備えて、職員の指導の下、訓練をすると共に、DVD教材を使ったり、消防士から話を聞くことで学ぶ機会を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD教材を使用し、子ども達にとって分かりやすく防災学習が出来た。 ・学習で学んだことを活かし、実際に避難訓練を実施できた。避難時、集中力が欠けてしまう子がいた。再度、訓練は遊びではないことを伝えた。 ・東山消防署の方に年度末に子ども達に避難する時のポイントを話してもらい総括をする。子ども達は熱心に聞いていた。また、職員の動き方や、実際に火事が起きた時の職員の役割分担などのアドバイスを頂いた。今後も、連携をとりながら子ども達やその過程に向けての防災意識を高めていけるよう努めていきたい。
49			交通安全教室&ワークショップ													東山警察署の方による、交通安全教室とワークショップ	台風による暴風警報で中止
50	子ども	推進	防犯教室	1			27		3	1	1				32	<p>生活安全課の方から、不審者が現れた時、いざという時にどうするかについて学ぶ。</p>	<p>東山警察署のスクールサポーターのに来ていただき、不審者に遭遇するなど、いざという時に備えてクイズ形式による学習ができた。子ども達が興味を持って意欲的に学習ができるような工夫された教材を持参していただけて良かった。</p>
51	育成	活動	Let`s子ども百鬼夜行	1		5	12	2	7						26	<ul style="list-style-type: none"> ・ハロウィーンの時期に、東山ならではの百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開。地域に出て開晴小六原グラウンドにパレードに出かけグラウンドで遊ぶ。企画や進行は、子ども実行委員会のメンバーが担う。 	<p>子ども実行委員会のメンバーが企画や進行を担い、百鬼夜行に因んで妖怪などの衣装を身につけて地域をパレードをして開晴小中学校六原学舎の運動場まで行く。参加者の保護者等が、交通安全や遊びの見守りをしてくださった。また、地域の親子が衣装を身にまとして少しの距離を同行される姿も見られた。子ども達は、普段通学している小学校区だが、パレードを通してまた違う地域の様子を知ることができた。</p>
52			40周年記念 東山老人福祉センター同好会発表会・作品展に参加	1		1	5		2		3				11	<ul style="list-style-type: none"> ・東山老人福祉センターが開催する多世代交流会に児童館の子ども達が参加。 ・出演者を募集し、子どもが児童館のステージの時間の進行、フープやけん玉、縄跳びの得意技やピアノ演奏、ダイススタッキングをステージで発表。 	<p>会場からの大声援を受けながら発表をすることができ、達成感も持てた。友達が発表をするのを見に行って子ども達も、友達だけでなく世代を超えた団体の出し物を見たり、展示を見たりしながら声をかけていただき会話したりする場面もあった。</p>
53			ロクフェス（六原学区の文化祭）													六原自治連合会主催。ステージ催しと作品展示	<p>児童館からはゲームコーナーと高学年クラブや児童館の子ども達の作品展示で参加。児童館として実行委員会に参加して準備し、地域の方に児童館をPRする良い機会となった。地域の方がたとの繋がりがコロナ禍で薄くなってきているが、繋がる良い機会であった。</p>
54			東山ふれあいリレーマラソン													はぐくみネットワーク実行委員会による取り組み	<p>会場が東山泉小中学校のグラウンドであるため、開晴館小中学校からの参加は少なかったが、地域の各種団体や乳幼児親子の参加もあり、地域が丸となって健全育成を目的に繋がっている。</p>

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
55	子どもの育成活動	推進活動	(12) 移動児童館	22												児童館機能を地域に出て展開する	「青空児童館」や、乳幼児事業「おでかけぼっぼ」の園庭開放に参加することも、新型コロナウイルス感染防止のため参加の仕方や展開が難しく、活動が再開されても参加者はほとんど無かった。 「左京東山児童館学童保育所まつり」での一日児童館はコロナ対策を講じて実施したが、会場が遠いためか当館の児童や親子の参加はみられなかった。
56			(13) 大学生と勉強をしよう！	29			655		152				46		853	・地域の子ども達の安心・安全な居場所である児童館という施設の特徴を活かし、大学生の協力を得て「学習習慣の確立」など、子ども達の生活支援を原点とする活動にしていくことを目指した取組。	2人の大学生の学習支援ボランティアとして登録し、子ども達の宿題をみてくれた。その後、一緒に遊び、いろいろな話を聞いてもらい、信頼関係が気付けた。関係が作れ子ども達との信頼関係も持たれ、個別対応の必要な子たちへの関わりも上手く対応してもらっていた。卒業されるので、児童館の利用者が大学生になり、新たにボランティアとなれるよう関係を作っていきたい。
57			合計	63	0	7	868	3	215	1	4	0	46	0	1144		
58		子ども育成機能 合計	201	2	29	1435	47	342	58	13	1	46	0	1961			
59																	
60																	
61	*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。																
62	推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。 指定活動は、指定児童館のみベット報告すること。																

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U							
2	令和5（2023）年度 児童館事業年間活動報告書																（京都市清水）児童館		<様式10-2>						
3	子ども 家庭 支援 活動	基 本 活 動	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題									
4					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア						合計							
5						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人											
6					(1) 乳幼児とその保護者を対象とする活動																				
7					①乳幼児クラブ活動																				
8	うさびよクラブ			15	32						30				62	自由参加の乳幼児クラブ。親子体操、ふれあい遊び、設定遊び（工作・リズム遊び・感触遊びなど）	・名称や開催曜日は変更せず定着させて、予約制という限定は外した。 ・開催日が図書館の休館日であるため、活動の前後に図書館にできるよう図書館の開館日の開催を希望する声があった。 ・参加者は、主に0歳児親子であるが、2歳児の親子が幼稚園や保育所のプレに通いながら、取り組み内容を見て参加される親子もあった。 ・東山子どもはぐくみ室の「ふわりん横丁」開催日に児童館での取組の紹介をしたり参加者を募った効果も見られ、日常的に利用される親子もあった。 ・区内の乳幼児親子の人数も少ないこともあり、全体的に参加者数は少なく、雨天には参加者のない日もあったが、丁寧に開くことで居場所とされ、引っ越しの際に児童館との出会い、職員との出会いに感謝されることもあった。 ・「クラブ」としながら年間登録制ではない自由参加の現況であるので、次年度からは「乳幼児さんよっといデー」と統合して、行事企画をすることとする。								
9	②乳幼児の広場活動																								
10	子育てほっと広場			94	135	1					136				272	児童館の開館時間内に親子が自由に過ごす	・参加の親子は1～2組で、参加のない日もあった。日頃から利用しておられた親子が、コロナ禍の予約制となったことで利用しにくくなったという声があり、利用しやすい広場になるように状況に合わせて変えていった。 ・総合庁舎内にある保健センターや図書館、区役所に来たついでや、市民体育館の試合途中で託児担当の人が利用される等、合築ならではの利用の仕方があった。 ・実家に帰って来られた際や、実家の近くに引っ越しをしてきて保護者が懐かしみながら利用されたり、母親のお産のために祖母がかわりに連れて来られたり、観光客が家族で利用されることもあり、多世代の利用があった。 ・時間帯により、年長者と乳幼児の交流など、児童館らしい場面も見られた。 ・今後も気軽に利用できホッとできる居場所作りに努めていきたい。								

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U
11	子 ど も 家 庭 支 援 活 動	基 本 活 動	わいわい広場	15	15						14					29	児童館の開館時間内に親子が自由に過ごす 滑り台や自動車、ボール等、体を動かして遊べるような環境を作り、11時20分から親子で体操をする	・都合の合う日の居場所としての利用や、保健センターや区役所、図書館での用事の前後の利用がほとんどであった。 ・親子体操の時間を設定しているが、「気分転換になりました〜」「うちの子は音楽に合わせて体を動かすのが好きで嬉しです」と喜ばれる場面もあったが、ふれあい遊びや絵本の時間にしたり、職員と話を過ごすと時間を求められている際には、体操をせずに過ごしたりと、月齢や状況に合わせて臨機応変に対応をした。 ・利用者にとって、自由来館の「子育てほっと広場」との区別がつきにくい状況であったので、次年度に向けて整理し、「わいわい広場」を月曜日から金曜日の10時から14時までの枠の中で、親子の都合に合わせて自由に遊びに来てもらえるようにする。
12			(2) 家族参加を促す活動															
13					乳幼児さんよっといデー 「こいのぼりを作ろう！」 4月25日 乳幼児さんよっといデー 「感触遊び」 5月30日 乳幼児さんよっといデー 「新聞紙遊び」 6月27日 乳幼児さんよっといデー 「ちびっこ縁日」 7月11日 乳幼児さんよっといデー 「ちびっこうんどうかい」 9月28日 乳幼児さんよっといデー 「ちびっこハロウィン」 10月26日 乳幼児さんよっといデー 「親子防災講座&消防車見学」 11月14日 乳幼児さんよっといデー 「ちびっこクリスマス」 12月12日 乳幼児さんよっといデー 「歯のおはなし」 2月21日 乳幼児さんよっといデー 「お楽しみ広場」 3月5日	11	33						33				66	・「乳幼児さんよっといデー」の取組の中で、消防署や子どもはぐくみ室等との連携による子育て講座や、「ちびっこハロウィン」など多世代交流のできる取り組みの中で、家族参加を促す機会を持つ。 ・子育て講座を行ったり、多世代交流ができる季節の行事や様々な遊びを取り入れ家庭参加を促した。 ・申込制にすることで参加し辛くなるが、子育て講座など内容によっては申込制とした方が良かった。申込という意識付けがないと、保護者が必要としている声があつて計画していても、参加がなかったということもあった。 ・「消防自動車見学」の日や「ちびっこハロウィン」の日には人気であったが、その他の日は参加者が少なかった。 ・次年度には、家族参加を促す活動としての内容を検討するとともに、図書館の開館している木曜日に開催するように変更する予定。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U		
14	子ども家庭支援活動	基本活動	0歳児教室	8	31						31				62	<p>0歳の乳児親子の教室 前期後期各4回シリーズで実施 <前期> ①5月24日 手作りおもちゃ作り 4組 ②6月7日 東山図書館の方による子育て講座「赤ちゃんと絵本」2組 ③6月21日 東山子どもはぐくみ室管理栄養士の方による「離乳食教室」0組 ④7月5日 パパママ企画で楽しもう！（七夕）2組</p> <p><後期> ①10月18日 手作りおもちゃで遊ぼう5組 ②11月15日 東山図書館の方による子育て講座「赤ちゃんと絵本」8組 ③11月22日 東山子どもはぐくみ室保健師による子育て講座「赤ちゃんの心の成長」5組 ④12月6日 パパママ企画で楽しもう（クリスマス）5組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母親だけでなく父親や祖父母等、層を広げて募集はしているが、参加されるのは母親だけであった。 ・講座開催前のアンケート調査により、聞きたいことが事前に把握でき、講師に当日答えを返してもらえて参加者の満足に繋がった。 ・連携事業での「0歳児教室」のPRや登録受付をしたことで、参加に繋がりが効果的であった。 ・シリーズ化をして半期の登録制にしていることで参加者同士の繋がりがもたせ、活動終了後も「うさぎよクラブ」や日常来館に繋がった親子もあった。 ・今後も、充実した活動を提供を目指し、関係機関と連携して実施していきたい。 			
15			おでかけぼっぼ（善立寺保育園）	12														<ul style="list-style-type: none"> ・参加申込者が少なかったが、気分転換に砂場遊びを体験させたい、異年齢の交流も楽しませたい、どんな園が見たい等の参加者にとっては、貴重な活動であり喜ばれている。 		
16			おでかけぼっぼ（しんかくじこども園）	12														<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の児童館に職員が出向き、園庭開放を通して保育園児や先生方とふれあう機会とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本、雨天は中止ということで、月齢や上の子と一緒に0歳児の月齢の低い子を同行して来られた場合など、保育園側も臨機応変に室内で対応してくださり参加者も喜んでおられる。 	
17			とび出せ!!どんぐり広場（つどいの広場との連携）	22	103								29				132	<ul style="list-style-type: none"> ・区社協内の部屋を借りて開催されている「とび出せ!!どんぐり広場（つどいの広場）」（毎月2回）乳幼児親子のふれあい遊びやお話会、手作り、コンサートや講座等 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子が少ない地域で単独開催では難しいことから、児童館との連携をして相互に広報をする。 ・地域の子育てサークル「ひなたぼっこ」と連携して開催される日には、サークルメンバーが参加され、児童館からの活動のPRをする良い機会となった。 ・間接的に地域の子育てサークルを支援していくこともできるので、児童館としても繋がりが持てることも、ありがたい。今の参加メンバーが保育園に入園されるなどもあり、サークルの次年度メンバー確保やリーダー後継者などの課題もあるが、次年度も同様の方法で展開されるので、間接的に支援していく。 	
18			あかちゃんお楽しみ会（図書館との連携）	10	20				5				23				48	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館が開催する乳幼児親子向けのふれあい遊びや絵本の読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児親子向けのふれあい遊びや絵本の読み聞かせの図書館行事に、家族で参加できるように周知し、直接保護者にPRできる場となっている。実際、図書館に来たついでに児童館へも足を運ばれる機会に繋がっている、開今後も変わらず相互に連携し、利用者が家族で参加していける機会をとしていきたい。 	

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	T	U
19	子ども家庭活動支援活動	基	すくすく広場	1	41						87				128	・東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会（東山区内の児童館・つどいの広場、東山区社会福祉協議会、東山区役所子どもはぐくみ室が実行委員となり、東山区内の保育園（所）・認定こども園・幼稚園・東山区民生児童委員会、東山区町中図書館プロジェクト、京都洛東ロータリークラブなどの協力を得て遊びのコーナーやステージ、工作等の東山区内広域の広場を展開	・東山区内の関係機関が連携し、乳幼児向けのいろいろな遊びのコーナーやステージを、協力し合って実施。「すくすくひろば」の参加者同士、参加者とスタッフ、スタッフ同士が、広場を通して交流できた。	
20			合計	185	378	1	5	0	0	0	0	353	0	0	0	737		
21		本	活	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路					件数	相 談 内 容				つないだ機関等	件数
22					乳児	8	児童館にて直接受理					0	健全育成問題				小学校、子どもはぐくみ室	1
23					幼児		児童相談所						家庭養育問題					
24					小1～3年（自由来館）		子ども支援センター						成長・発達問題					
25					小1～3年（学童）		主任児童委員						教育問題					
26		小4～6年（自由来館）	その他					非行・問題行動				}	}					
27		小4～6年（学童）	}					その他										
28		中学生																
29		高校生																
30		件数 計	8	-					0	-				-	8			
31		支	援	(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容					育成・支援内容				成果と課題		
32																つどいの広場との連携事業「とび出せ!!どんぐり広場」の中で、地域の子育てサークル「ひなたぼっこ」と連携して開催される日には、サークルメンバーが参加されるので、間接的に子育てサークルを支援していくことができた。できるので、児童館としても繋がりが持ててありがたい。今の参加メンバーが保育園に入園されるなどもあり、サークルの次期メンバー確保やリーダー後継者などの課題も発生しているが、次年度も同様の方法で展開されるので、間接的に支援していく。		
33		推	進	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容					成 果 と 課 題						
34						4	京都市は、出産家庭に対して「こんにちは赤ちゃん事業」による保健師の家庭訪問時に「出産お祝いレター」「子育て応援パンフレット」等とともに、「京都市家庭ごみ有料指定袋無料引換券」を配布されている。この引換を児童館ですることによって、引き換えの際に児童館を知ってもらえる機会としている。					東山区総合庁舎の一角にあり他施設と合築の為、保健センターで引き換えられることが多いようで、児童館まで足を運ぶことは少ないが、今年度は4件引き換えがあった。そ引換に来られる方は既に児童館を知っておられることが多く、引き換えを通して児童館の存在をアピールすることまでには至っていない。						
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		
41																		
42																		
43																		
44																		
45																		
46																		
47																		
48																		
49																		
50	※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動] (2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。																	

地域	福祉	促進	基	本	活動	能	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
										乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計
											自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
							防火防災コンサート		東山消防署								清水児童館	コロナ禍で途絶えており、ポスター掲示や開催のお知らせやPRの協力ができなかった	
							ロクフェス(六原学区の文化祭)	1	六原自治連合会ロクフェス2023実行委員会								東山警察署、東山消防署、開晴小中学校、清水児童館、六原学区内各種団体	ステージ催しと作品展示の文化祭。児童館からは職員のゲームコーナーと高学年クラブや児童館の子ども達の作品展示で参加。児童館として地域住民の方とふれあいが準備し、地域の方に児童館をPRする良い機会となった。	
							清水ふれあい夏まつり		清水自治会連合会								東山警察署、東山消防署、開晴小中学校、清水学区内こども園、清水児童館、清水学区内各種団体	コロナ禍でのプランクもあり、自治会が実施されなかった。	
							子ども交通安全教室		清水児童館								東山警察署	東山警察署の主催の交通安全教室は暴風警報のため中止となる。	
							防犯教室	1	清水児童館								東山警察署、スクールサポーター	生活安全課の協力を得、スクールサポーターさんから、子ども達に不審者と遭遇した時にはどうすべきかの学習をする機会が持てた。クイズ形式の手作りの教材を準備してくださり、楽しく学ぶことができた。	
							清水交通安全ふれあい広場		清水交対協								清水児童館	コロナ禍でのプランクもあり、自治会が実施されなかった。	
							40周年記念 東山老人福祉センター同好会発表会・作品展での発表リハーサル	1	東山老人福祉センター			2				4	清水児童館	児童館からステージ参加者を募集し、得意技などを披露などに向け、実際のステージで練習をする。	
							40周年記念 東山老人福祉センター同好会発表会・作品展での発表	1	東山老人福祉センター	1	5	2			3	11	清水児童館	児童館からステージ参加者を募集し、大勢の地域の方の前で得意技などを披露、声援を受けたり、同好会の出し物のワラダスなどを一緒に体験したり、展示作品を見るなど、貴重な交流体験ができた。	
							東山ふれあいいりレーマラソン	1	東山玖はぐくみネットワーク実行委員会								東山区内の地域女性会、少年補導委員、民生児童委員、京都市行政、他各種団体、清水児童館	会場が東山泉小学校であるため、開晴小中学校からの参加は少なかった。参加すれば、地域の各種団体や乳幼児親子との交流ができるので、当館利用の子ども達や家族にも周知していきたい。	
							Let's子ども百鬼夜行	1	清水児童館	1	8	15	1	3	7	35	開晴小中学校、	子ども実行委員会のメンバーが企画や進行を担い、百鬼夜行に因んだ室内ゲームや取り組みを展開した後、妖怪などの衣装を身に付けて地域をパレードをして開晴小中学校六原学舎の運動場まで行く。参加者の保護者等が、自主的に交通安全の見守りや遊びの見守りをしてきた。また、地域の親子が衣装を身にまとい少々の距離を同行される姿も見られた。	
							40周年だよ！チャレンジウイーク	1	清水児童館		1	101	1	18		121	自治連、清水自治連、東山	40周年を記念して児童館まつりを開催する代わりに、記念行事を実施する。南館の図書館や老人福祉センターと合同の40周年記念パンフレットを発行し、記念行事のひとつとして、チャレンジの内容を日替わりで展開し、広く地域に広報して実施した。他にも、地域のまつりや地域と合同の他の連携行事の中でも同様に40周年記念に因んでの企画をした。児童館内で行うこのチャレンジウイークに関しては、地域からの多くの参加は見られなかった。	
							左京東山児童館・学童保育所まつり	1	京都市児童館連盟							0	左京東山の児童館	当館から子ども達の参加は見られなかったが、実行委員、要員として関わりながら、児童館職員同士や協力団体の広く左京・東山区内の子ども達との交流が持てた。	
							すくすくひろば前日準備	1	東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会(東山区内の児童館・つどいの広場、東山区社会福祉協議会、東山区役所子どもはぐくみ室)							0	東山区内の保育園(所)・認定こども園・幼稚園・東山区民生児童委員会、東山区町中図書館プロジェクト、京都洛東ロータリークラブ	東山区内の乳幼児向けの広場を、区内の関係機関が連携し、それぞれの機関が協力し合って実施することができた。いろいろな遊びのコーナーやステージを展開、「すくすくひろば」の参加者同士、参加者とスタッフ、スタッフ同士が、広場を通して交流できた。	
							すくすくひろば	1	東山区内の児童館・つどいの広場、東山区社会福祉協議会、東山区役所子どもはぐくみ室	41						87	128		
							合計	8	—	41	0	0	0	0	0	87	128		

地域		(2) ボランティア活動の推進	中高生ボランティア	4			4	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と引き続き、児童館利用者や元学童クラブの中高生が、自分たちの遊びたい時や先生と話したい時、小学生と一緒に遊びたいと思った時に来館し、自分も遊びに入りながら、良きリーダーとして活躍してくれました。 ・中学生の時に生き方探究チャレンジ体験に来た生徒が、将来を見据えて高校の先生の勧めもあり、児童館でのボランティア活動をした。 ・今後は、児童館事業の中での活躍場面も検討していきたい。
			学習ボランティア		2		2	<p>大学生2名が、学習支援ボランティアとして登録し、子ども達の宿題をみてくれた。その後、一緒に遊び、子ども達との信頼関係も築くことができた。個別対応の必要な子たちへの関わりも上手く対応してもらっていたが、次年度卒業されるので、2名の大学生は卒業されるので、新規ボランティアの大学生を募集していく。</p>
			合計	4	2	0	6	
福祉促進機能	基本活動	(3) 地域との連携を促進する活動	連携団体等	連携内容				成果と課題
			東山区子どもはぐくみ室	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館だより配布 ・情報誌「ふわりん」の記事掲載協力、ポスター作成、WEB情報提供、 ・4か月検診待合室託児&東山の児童館PR ・0歳児教室の子育て講座の講師派遣：管理栄養士、保健師、歯科衛生士 ・「ふわりん横丁」交流会での児童館職員による手遊びやパネルシアター、活動紹介 ・東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」における東山区内の関係機関や団体への呼びかけ、協力依頼等 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館だよりの配布や情報誌の発行に向けての記事掲載協力、ポスター作成、東山区の子育て情報やWEB上での情報提供等は、連携の中で問題なく取り組めた。 ・連携事業については、「0歳児教室」で子どもはぐくみ室の管理栄養士や保健師、「乳幼児さんよっといデー」で歯科衛生士に講師になってもらう。専門家からの視点での指導を受けたり、育児の悩みに対応してもらっていることができる貴重な機会であり、保護者も求めておられ、楽しみにもされていたが、その日の天候で参加に繋がらなかったことがあった。実施の季節を変えてみる等、参加の促進を検討する。 ・「すくすくひろば」においては、広く東山区内の乳幼児向けの広場を、共に各関係団体や機関の方々との連携、協力を得て開催することができた。 			
			東山図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館だより配布 ・おたのしみ会参加(月1回) ・あかちゃんのおたのしみ会参加(月1回) ・子ども読書の日記念事業お楽しみ会の周知協力と参加、 ・0歳児教室子育て講座「赤ちゃん絵本」の講師派遣等 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あかちゃんのおたのしみ会」では、直接PRできる機会となり、児童館へも足を運ばれる機会に繋がっている。開催の際にはPRの機会として大事にしていきたい。 ・0歳児教室の子育て講座では、読み聞かせの実演や絵本の紹介、絵本の選ぶポイントなどの話と、赤ちゃんとのふれあいのツールや言葉のシャワーの役目であること、読み方についてのきまりがあるわけではないことなど、子育てに関わる方々向けに話をしていた。 ・「おたのしみ会」や図書館の企画行事を色々と案内をしていただき、周知協力と共に、学童クラブの児童に呼びかけ参加に繋がったり、学童クラブの図書館行事への興味がある保護者にも声掛けをし、家族での参加に繋がった。 ・階下が図書館であるので、児童館や学童クラブでの図書館を利用する子ども達が多々いる。利用の仕方やマナーの面で子ども達に注意することもあった。常に情報を共有しながら、図書館と共に子ども達の豊かな感性の育ちに繋がるよう、読み聞かせや読書の機会を大切にしていきたい。 			
			六原・清水 学区自治連合会・民生児童委員	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館だより地域回覧依頼夏 ・まつり等の地域行事への要員参加をしゲームコーナー展開 ・「すくすく広場」他、行事の中での民協さんとの連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主催のまつり等の実行委員会に参加し、共に準備をして繋がりを深めたり、その行事の参加者に向け、児童館のPRを行う機会となった。 ・今後も、地域の情報の共有や、行事の連携、児童館への支援をいただく関係を促進していきたい。 			
			東山老人福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・相互のたより交換、事業案内ポスター。呼びかけなど ・多世代交流事業参加 ・老人福祉センターのサークルや同好会の方への講師やゲスト依頼・遊びの交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東山老人福祉センター主催の40周年記念を兼ねた同好会発表会・作品展の文化祭行事のステージ発表に参加。事前のリハーサルや本番を通して、日頃と違う環境の中で多世代の地域の方との交流ができた。地域の方には、小学生の得意技の色々な出し物が新鮮で、喜んでいただけ声援をおくっていただき、子ども達も達成感が見られた。また、フラダンス他、自分たちも真似て踊ってみる等楽しむ姿が見られた。 ・多世代交流の行事として、今後も相互に有効な取組を企画していきたい。 			
			東山消防署	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練協力依頼 ・乳幼児親子防災講座&避難訓練と消防車見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の防災訓練のうち、年3回は協力依頼して評価を頂いている。 ・乳幼児親子へ防災啓発活動としての親子防災講座・消防車見学は人気がある。 			

地域福祉促進機能	基本活動	(3) 地域との連携を促進する活動	三条保育所	・相互のたよりの交換、取組のPR協力	・広報誌の交換を行い、相互の事業についての情報交換が行えた。今後も、より良い支援者支援の保育所との連携の仕方を検討していきたい。
			善立寺保育園	・児童館だより配布 ・「おでかけぼっぼ」で保育園の園庭に「移動児童館」として出向き、地域親子の遊び場提供	・「おでかけぼっぼ」では、例年近隣の保育園2か園と連携して「移動児童館」として実施しているが、参加者は少ない。 ・当館への参加者も少なく、参加への呼びかけも難しかった。次年度も、相互の事業の効果的な周知や互いの機能を尊重しながら連携の在り方や展開の仕方を検討していきたい。
			しんかくじこども園	・児童館だより配布 ・「おでかけぼっぼ」で保育園の園庭に「移動児童館」として出向き、地域親子の遊び場提供	
			つどいの広場	児童館だより配布 「とび出せ!! どんぐり広場」の活動への参加呼びかけや周知協力、活動への児童館職員 の参加 乳幼児さんよっといデー「ちびっこハロウィン」の共催 「どんぐり広場（小学生）」での小学生との関わり（毎月1度）	・開催日に出向き、児童館のPRをする。また、地域の子育てサークルと連携しての取り組みとされているので、サークルとの繋がりや情報交換の場としても良い機会となった。 ・今年度も「ちびっこハロウィン」を実施し室内でハロウィン向けの絵本や楽しい歌遊びなどを行った。「子どもはぐくみ室」まで庁舎内をミニパレードした。連携をしたことで、楽しい遊びの提供やパレードの安全確保に繋がった。 ・今までの積み重ねてきた連携から発展した「どんぐり広場（小学生）」の交流事業を目的とした事業は、感染防止のために事業の休止をされることもあったが、子ども達にとって、季節に因んだ工作の取組等、楽しいひと時となっている。 ・年間を通じて子ども達の遊びの見守り等もしていただく中で、小学生と顔見知りにもなり多世代の方と交流する場にもなっている。
			開晴小中学校	児童館だより配布、学童児童・中学生への支援に関する情報共有等 生き方探究活き活きチャレンジ体験	・東山開晴館小中学校とは、常に連携は図っている。要支援児童、家庭についての相談は、必要に応じて進めることができている。

	A	B	C	D	E	G	H	I	J	K	L	M
1												<様式10-4>
2				令和5（2023）年度	児童館事業年間	活動報告書						（京都市清水）児童館
3												
4					組織名称	構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題
5												
6					東山区内基幹ステーション会議	清水児童館、新道児童館、今熊野児童館、三条保育所、小松谷ありんこ広場、はぐくみ室		5月24日		・地域子育て支援ステーション会議の課題と今年度の事業について		・東山区の基幹ステーションとしての在り方や方向性について関係機関と連携を深めるために交流事業を企画。会議で承認を得て開催に向けて実行委員会を立ち上げ、実行委員を募る。
7					開晴小学校区ステーションネットワーク会議	清水児童館、新道児童館、今熊野児童館、三条保育所、小松谷ありんこ広場、はぐくみ室、しんかくじこども園、善立寺保育園、小松谷保育園、光保育園、華頂短期大学付属幼稚園		①6月16日 ②3月6日		・各機関の情報交換、情報共有 ・東山区地域子育て交流事業について		
8			(4)児童館を支える地域組織作り		東山区地域子育て交流事業「すくすくひろば」実行委員会	主催：児童館、つどいの広場、社会福祉協議会、はぐくみ室 協力：保育園（所）認定こども園、幼稚園、民生児童委員会、まちじゅう図書館プロジェクト		①7月5日 ②9月21日 ③1月19日		東山区地域子育て交流事業の開催に向けて協議		・関係機関が連携して実施することができ、次年度以降も続けていけるよう取り組む。支援者同士の顔が繋がり、また、乳幼児親子にも好評
9	地											
10												
11	域				東山区地域子育て支援ステーション研修	東山区域児童館、保育園、こども園、民生児童委員、はぐくみ室		①1月23日 ②2月28日		①「絵本でつなぐ子育て支援」 ②東山区子育て講演会「子育て」を「孤育て」にしないための地域づくり		地域の子育て支援関係者が繋がり、学びを深める機会となった。
12												
13												
14	福				東山区はぐくみネットワーク実行委員会	ボーイスカウト連盟、民協、社協、保護司会、少年補導委員、児童館、区役所、市教委等		①6月22日 ②7月27日 ③8月24日 ④9月29日 ⑤10月26日 ⑥12月1日 ⑦2月21日 ⑧5月17日		①今年度の取り組みと役員顔合わせ ②東山区民ふれあいひろば、東山ふれあいリレーマラソン、敬老メッセージ ③同上 ④研修会「薬物依存について」 ⑤東山リレーマラソン、ふれあいひろば進捗状況確認 ⑥東山リレーマラソンの前日準備 ⑦情報交換と活動の振り返り ⑧今年度の総括と来年度の方向性		・東山区全体を対象に各団体が参加し、行事や研修を通して子どもの健全育成について考える場であり、繋がることできています。 ・実行委員会に参加することで、地域の皆様と顔が繋がり、健全育成に対する声を直接聞くことができるのは、大きな成果である。
15	社											
16	活				東山区地域福祉推進委員会	東山区民生児童委員会、主任児童委員、老人福祉員、東山医師会、東山区社会福祉協議会、当事者組織、福祉施設、行政機関		6月29日		令和4年度報告、令和5年度取組		・地域の福祉課題について関係機関と繋がることができ、視野が広がった。
17	動				東山区子どもの居場所情報交換会	主催：東山区社会福祉協議会、子育てコミュニティベースひなたぼっこIN東山 対象：子育て支援に取り組む関係機関（児童館、東山区子どもはぐくみ室）子育て中の親子		3月1日		ハープ鑑賞や演奏体験、子ども服の交換会を開催し、子育て中の親子と子育て支援に取り組む団体が情報交換をして繋がる場を設ける。		・気軽に参加できる雰囲気の中、親子と支援者、親子同士、支援者同士が話せる場となった。
18	能				東山区地域福祉シンポジウム	主催：東山区地域福祉推進委員会 協力：東山医師会、京都市下京区・南区・東山区在宅医療・介護連携支援センター、東山区認知症ネットワーク、東山区民生児童委員会、東山区社会福祉協議会		2月6日		「東山区における認知症の今とこれから」		・児童福祉だけでなく地域の福祉課題を共有することで、子どもの育つ地域への理解を深めることができた。
19												
20	推				会場提供・備品貸出等	使用目的		提供先（団体・機関等）		成果と課題		
21	進											
22	活		(5)地域への施設提供		遊戯室	交通安全啓発事業及び防犯教室		東山警察署		・東山警察署主催の交通安全啓発のための取組を夏休みに遊戯室で開催した。児童館や児童の住まいが交通量の多い街中にあるので、児童がルールや自身を守るためにすべきことを学ぶ機会として定期的開催していきたい。		

	A	B	C	D	E	F	G
1							<様式10-5>
2		令和5(2023)年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市清水) 児童館					
3							
4	5	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
5							
6	広 報 活 動	児童館だより	月1回	清水学区自治会連合会、清水学区自治連 会長、清水民生児童委員会、六原自治連 合会、六原自治連会長、六原民生児童委 員会、来館者・学童クラブ児童保護者	地域回覧・配布・「京都の児 童館」のホームページの中 での、インターネットでの広報	予定・お知らせ・取り組みの様 子	・今年度は特に、紙面作りを整理しなが ら作成した。今後もホームページの閲覧 も意識した紙面作りに努める。
7				東山総合庁舎南館掲示板、東山総合庁舎 外掲示板、当館廊下掲示板、当館室内遊 戯室掲示板、東山子どもはぐくみ室、東 山老人福祉センター、東山図書館、市社 協館長会、第3ブロック施設長会、どんぐ り広場(つどいの広場)、善立寺保育 園、しんかくじこども園、三条保育所、 東山いきいき市民活動センター、東山青 少年活動センター、東山ファミリーホー ム、東山区社協、清水郵便局、ハッピー 六原掲示板	掲示、窓置き		
8		行事のミニビラ・申込用紙	随時	児童と保護者 参加者や登録制の活動の申し込み希望者	利用者に配布	行事内容(日程・時間・企画)	・活動のお知らせポスターや、チラシの 発行はタイミングよく作り周知した。今 後も、余裕を持った準備と配布に心がけ る。
9		館外活動参加申込み用紙	年4回程度	児童と保護者 参加者や登録制の活動の申し込み希望者	利用者に配布	行事内容(日程・時間・企画)	
10							
11		行事PR看板・ポスター等	随時	地域全域・庁舎利用者 児童館利用者	設置・掲示	各行事の詳細を記載したポス ターやチラシの作成配布ホーム ページへの掲載。	・合築のため大きな看板などの設置は難 しいが、外の掲示板の有効利用や、南館1 階ロビーの掲示板、必要に応じて地下の エレベーター横の壁面などにも一時的に ポスター掲示をするなど工夫できた。 ホームページの活用については、更に内 容を充実させて、積極的なPRに努めた い。 ・区役所のデジタル掲示板の活用は現在 していないが、行事によっては活用した い。

ファイル名	最終更新日時
2024_05_31_10_22_24_★13清水令和5年度 清水児童館_事業活	2024/5/31 10:23
2024_05_31_10_19_34_★13清水令和5年度 清水児童館_事業活	2024/5/31 10:20
2024_05_29_12_20_06_★13清水令和5年度 清水児童館_事業活	2024/5/29 12:21
2024_05_28_17_26_47_★13清水令和5年度 清水児童館_事業活	2024/5/28 17:28
2024_05_27_12_31_01_★13清水令和5年度 清水児童館_事業活	2024/5/27 12:32
2024_05_27_11_45_02_★13清水令和5年度 清水児童館_事業活	2024/5/27 11:46
2024_05_27_11_02_08_★13清水令和5年度 清水児童館_事業活	2024/5/27 11:03